

## 【資料】

# 環境講座 ～地区館との連携～

中央公民館の「環境講座」では、地区館との連携を深め、各地で取り組まれている環境についての実践を広く発信・紹介することをねらいとして、平成26年度より、市内各地区の実践を発表していただく機会を設定している。以下にその概要を紹介する。

### 〈平成26年度〉10月25日

○里地・里山の地域資源を生かした取組（安居地区）

安居の里を守る会会長 重森 正雄 氏

○地域力で取り組む環境学習とは（東郷地区）

ふくふくセミナー委員長 堀江 洋子 氏



環境講座として初の事例発表とパネルディスカッションであった。地域資源の保全活動や整備活動（安居地区）、身近なりサイクル活動（東郷地区）を通して地域コミュニティを活性化させるという事例発表のあと、中央公民館館長がコーディネーターとなってパネルディスカッションが行われた。

それぞれの取組内容が、ディスカッションの中でより具体的になり、他地区での今後の活動にとって大変参考になった。質問等も多くあり、充実した講座となったため、これからの環境講座の計画立案に役立つものとなった。

### 〈平成28年度〉7月16日

○地区でのごみ処理活動の取組（岡保地区）

岡保公民館 環境美化推進委員会

岡保地区の各町内から選ばれたメンバーによって組織された環境美化委員会が、年間を通してごみの分別の仕方や紛らわしいゴミの捨て方などを地区民に周知する活動を行っている。当日は、岡保公民館を会場にして、メンバーが時々ユーモアあふれる寸劇を入れるなどの工夫を凝らして発表が行われた。

ごみに関する現状を踏まえて、地域で地道に環境美化に取り組むすばらしい実践発表であった。



### 〈平成29年度〉8月26日

○24年前と今、生業の内容から環境を考える（本郷地区）

あぐりぱーく本郷

杉本 英夫 氏

○なせばなるか？（社西地区）

社西ふるさと創り協議会会長

山下 征夫 氏



杉本氏は、本郷地区の山間部で、常に環境保全・自然の価値を意識しつつ、稲作、木酢液作り、しいたけ栽培、養蚕など、様々な取組を行っている。また、社西地区の山下氏は、地区を流れる狐川の環境整備の取組、社西小のピオトープ作り、県内のホテルの生息状況調査など、環境保全に関わる多くの実践を行っている。

両者の熱い実践発表に、参加者の皆さんも大きな感銘と刺激を受け、自然や環境を守ることの大切さを再認識することができた。

### 〈平成30年度〉10月20日

○荒川水質調査について（旭地区）

旭公民館主事

竹内きみえ 氏

○資源循環社会の取組・ゆめファーム（清明地区）

ゆめファーム会長

宇山 繁幸 氏

地区の様々な団体が連携して取り組んでいる旭地区の「荒川水質調査」は、平成30年度で30回目となる。これまでの地道な取組は、環境・地域連携・少年活動など様々な視点で多方面から高く評価されている。また、清明地区ゆめファームの、生ごみを減らす取組も、地域の理解と協力が不可欠なもので、他地区にとっても大きな刺激となった。

両者の発表から、地道な取組を継続していくことの大切さを改めて感じることができた。



### 〈令和元年度〉8月10日

○裏山があってウラヤマシイまちづくり（清水北地区）

清水北地区里山の会

松井 洋輔 氏

○日新地区の環境美化活動 ～20年間の底喰川への取組～（日新地区）

日新地区まちづくり環境部会

高橋 定信 氏



清水北地区にある小高い里山で、様々な活動を展開する「里山の会」は、山の環境に目を向けつつ自然に親しみ、世代を超えた人々の交流やまちづくりを進めている。また、日新地区では、地元底喰川の清掃や植栽活動など、環境保全活動を20年間継続している。

両者共に、地元への愛や人々の強い絆があってこそ継続できるものであり、参加者は大きな感銘を受けていた。